

表 シカゴ連銀経済報告 (2022年9月7日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	緩やかに (moderately) 増加 賃金は急速に (rapidly) 増加	引き続き労働者の確保が困難であるが、一方で働き手の確保が容易になったという声も少なくない。また、ある労働力開発機関では、仕事の斡旋や失業保険の申請に来る人が増えたという。新規労働者の獲得と既存の人材の維持の両方のため、賃金と福利厚生費は急速に増加した。労働市場の逼迫に加え、労働者が賃上げを要求するきっかけとして、関係者は高インフレを挙げている。
物価	急速に (rapidly) 上昇	物価は急速に (rapidly) 上昇したが、エネルギー価格は低下した。今後1年間は物価上昇のペースが鈍化すると予想される。エネルギー価格の下落を除けば、生産者物価は原材料、労働、輸送コストの上昇の転嫁により上昇を続けている。しかし、原材料価格の伸びは引き続き鈍化しており、鉄鋼価格の下落が目立った。消費者物価は、堅調な需要水準とコスト上昇の転嫁により、燃料価格の下落を除けば全般的に堅調に推移した。
個人消費	控えめに (modestly) 減少	消費者は引き続き、嗜好品から必需品に支出をシフトしている。食料品では、低所得者層が有名ブランドよりもストアブランドに、高所得者層が外食から惣菜にシフトするなど、所得水準に応じて買い控えが進んでいることが指摘されている。新学期商戦は、昨年よりやや増加する見込み。自動車販売台数は、低水準で横ばいとなったが、新車の予約は好調に推移している。
企業支出	ほとんど変化なし	自動車在庫は新型コロナ流行急速拡大時の低水準からわずかに増加。製造業では、入手可能な投入資材の「念のため」の在庫を積み増す一方、不足部品の入荷を待つために完成品に近い製品を保持するため在庫は緩やかに増加した。また、鉄道システムの混雑がコンテナの動きを鈍化させたため、輸送サービス業はわずかに減少した。設備投資は、機械や車両を含む新規設備の購入が目立ち、小幅ながら増加した。商業用、住宅用、工業用のエネルギー消費はわずかに増加した。
建設と不動産	控えめに (modestly) 減少	住宅建設はわずかに減少し、住宅建設業者は今後数カ月の間にさらに減少すると予想した。住宅用不動産の動きは緩やかに減少した。業界関係者は、一般的に住宅が受けるオファー数が減少し、売却に時間がかかるようになったと指摘した。住宅価格の伸びは鈍化したが、依然としてプラスを維持。非住宅建設は、引き続きプロジェクトの遅れとコスト上昇の問題が指摘された。商業用不動産もわずかに減少し、産業用地に対する旺盛な需要がやや冷え込んでいることが指摘された。
製造業	緩やかに (moderately) 減少	新規受注が伸び悩む中、大量の受注残があるが、ある担当者は、多くの製造業で現在の受注残は年末までの生産レベルを維持するのに十分な量であると指摘している。鉄鋼需要は小幅に減少し、ある関係者は建設需要の減少を指摘した。金属加工品の受注は、運輸部門の需要減少に伴い、緩やかに減少した。自動車業界ではマイクロチップの不足が2023年まで続くという認識が広がっている。大型トラック需要は微増、在庫は非常に少ない状態が続いている。重機需要は横ばい。
金融	緩やかに改善 (modestly)	株・債券市場では資産価値の純増を報告し、ボラティリティ(値動きの大きさの度合い)は幾分低下した。企業向けローン需要は全体的にやや減速し、関係者は借入金利の上昇と不確実性の高まりを減速の一因と指摘している。企業向けローンの質は引き続き非常に高いものの、ある担当者は今後数ヶ月のうちにいくらか低下すると予想している。企業向け融資の基準はいくぶん厳しくなった。消費者市場では、融資額は小幅に減少しました。業界関係者は金利上昇に直面して住宅ローン融資が大幅に減少していると報告した。消費者ローンの質(商品の種類等)は堅調で安定しているが、基準はやや厳しくなっている。
農業	主要作物の価格は下落	作物の進捗は、遅い植え付けにより通常のペースより遅れているが、追いつきつつある。トウモロコシ、大豆、小麦の価格は前回報告期間より下がり、牛乳と卵の価格も同様に下落した。豚の価格は高水準からわずかに下落し、牛の価格は上昇した。農機具の需要は引き続き高く、納期は長くなっている。
地域社会の状況	ほとんど変化なし	州政府関係者は、報告期間中、税収の健全な伸びを報告した。中小企業振興機関は、製造業者が労働力やサプライチェーンの制約から大量の受注残を抱え、解消に時間がかかると指摘した。中小企業の投資需要は、金利の上昇と経済の先行き不透明感の高まりにより、いくぶん減退した。低・中所得世帯を支援するNPOは、インフレによる家計の圧迫で、彼らのサービスへの強い需要があると報告している。また、スタッフの賃金上昇に資金が追いつかず、財政難に陥っているとの声も聞かれた。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成